

幼稚園だより

参観日・講演会

演題「私はどんなタイプのお母さん」

10月の参観日は講演会を行いました。子育てについてのヒントをたくさん教わる事が出来ました。どのように子どもに接したらよいか、どのように子どもに声をしたら良いか、具体的に良く分かるように話をして下さいました。

0～1歳・口唇期（信頼の芽が育つ頃） 1～3歳・肛門期（トイレトレーニング期・嫉のスタート） 3～6歳・エディプス期（お母さん大好き・認めてもらってチャレンジ精神が育つ）等日頃忙しいお母さん、お父さんです。講師の先生の話聞きながら、質問に答えながら子育ては「楽しいこと」と思われたのではないのでしょうか。

最後に30問の質問に〇×で答え、〇の数であなたはどんなタイプのお父さん、お母さん。どんなタイプでしたか？講演会の話を時には思い出して下さいね。

幼稚園の誕生会

幼稚園では今年度、各月々の誕生会に保護者の方を招いて誕生会を行っています。

幼稚園での子どもたちの様子を見ていただく良い機会だと考えています。10月の誕生会は二人の誕生日でした。二人のお父さんが来てくださり、子どもへメッセージを送ってもらい、その場限りのマジシャンになってもう一回限りの手品。園庭で「ねごとねずみゲーム」。お家の方と過ごした楽しい時間でした。お父さん方、ありがとうございました。



小学校だより

福島こうき君との交流会

いいいたかひろ

こうちゃんに本をよんであげたら、こうちゃんがよるこんでくれたのがう

うれしかったです。あつここうきくとみんながようちえんにおさんぽについてようちえんこうきんの人もいっしょにあそんだのがたのしかったです。かねこみさき

ようちえんでこうきんといっしょにごうろをとっているまをみしました。たのしかったです。こうきんのビデオを見て、おはなしはできなくてもたのしいんだな、わかっていんだなとおもいました。たのしいこうきゅうかいでした。

こうのあんな

こうきんとあそんだりおさんぽしたりしました。ようちえんにいってこうきんとすべりだいにいきました。つぎにこうきんはいるいるなところに入ったので、わたしもついていきました。おもいふかったです。

こうのゆうすけ

こうきんが金ぎよを見てわらっていらしたのしそだったので、ほくもうれしくなりました。こうきんの先生がエプロンシアターの「ももたろつ」をしてくれて、おもいふかったです。ごとうさつき

金よう田にこうきんといっしょにあそんだりもりのくまさんをつたたりしました。わたしは「おんがくしつはありますか？」といつも申しましたのしかったです。

ごとうみづき

こうきんにあつのはひさしびりです。こうきんの学校のビデオを見せてもらってこんなくらにきいているんだとよくわかりました。いっしょにあそんだのしかったです。しゃくしるゆき

ようちえんへいったらこうちゃんは金ぎよを見ました。こうちゃんは金ぎよが大すきでした。ようちえんのときもとってもすきだったなとおもいました。しんめんかずあき

こうちゃんをひさしびりにあそびました。こうちゃんが金ぎよがすきなことをほくはわすれていたので「ぶーんそつだった。」とおもいました。1ばんさいしよにこうちゃんのビデオを見て、こうちゃんたちもあきのかいをやるんだなとおもいました。いっしょにさんぽしてようちえんにいきました。



たてもとそうた

ひさしぶりにこうきくとあそんだりベンきょうしたりしました。こうきくんはようちえんのなかですうつと金魚を見ていました。こうきくんの先生がエプロンシアターをしてくれました。たのしかったです。

のうえさくち

こうきくんの小学校のビデオを見て、それから大きなかぶの本読みを聞かせてあげました。こうきくんはあんまりみていなかっただけと聞いてくれてうれしかったです。

まさひされい

こうきくんとさんぽにいつて、いっしょにあるいたり、金ぎよを見たり、すべりだいでいっしょにすべったりしたのがおもしろかったです。こうきくんが金ぎよを見てわらっていたのがうれしかったです。

中学校だより

学級弁論大会より

「ペンとぶのぶれい」

三年 荒堀 彩香

私の家にはたくさん動物がいます。人がくると必ず、「動物園と水族館じゃな。」と言われます。私の家ではどの動物にも必ず名前をつけています。人か

らみれば、変な名前かも知れませんが、名前をつけてあげてしゃべりかけてあげると、なつかないと言われた動物でもなつきます。ハチュウ類はなつかないと思うかもしれないけど、私の家にいるハチュウ類は、すべてなついています。犬や猫のようななつきかたはしません、それぞれハチュウ類らしいなつきかたをします。例えばカメに、「ご飯ほしい？」とエサを見せると、まるでちょうどいい、ちょうどいいと言っているかのように、手をバタバタさせてやってきます。でも違う人が同じ事をしても知らん顔をしています。ご飯をいつもくれる人を覚えているようです。他にも犬が三匹います。家族が三人なので、一人一匹ずつ責任を持って飼っています。私が飼っている犬はとても臆病でこわがりなのでよくほえます。

お母さんが世話をしている犬はとても賢いので私の犬と全然違うということがよくわかります。お母さんの犬のほうが、賢すぎるので、どんな努力をしても私の犬は、ほえることや臆病な性格は直らないんだなとむなしくなることが時々あります。でもそれにめげずにがんばっていいこうと思います。

お父さんの犬はガムがとても大好きで、いつ見てもガムをくわえています。ガムをくわえていない時は、寝ているか、おもちゃで遊んでいるかどつちかです。私は動物は好きですが、お母さ

んがかわいがっている犬だけかわいがることができません。それがなぜなのかは、わかりませんが、とにかくその犬だけをかわいがれません。みなさんは、「自分の犬だけ頭が悪いからそのひがみなのでは。」と思う人もいるかもしれないませんが、私は他に理由があると思っています。私の犬はご飯の量が少し違うだけで、すぐにおなかをこわします。その日におやつを多くやりすぎるとご飯の量を少なくしないといけないので、私の犬だけ色々と世話が大変です。私の犬は私とは違ってとても細いです。だからえさも安物のえさは与えていないです。えさはお母さんの犬だけ大人用であとの、二匹は子ども用のえさを食べています。私の犬は二才なのですが、食べても食べても太らないので子ども用を食べています。

ご飯ばかりではダメなので太りやすそうなおやつを見つけて買って与えています。がなかなか太りません。私の犬はよくかんで食べないのでそれが原因なのではないかと思い、今はかたいアキレスなどを与えて、かむ練習もさせています。その成果が早く現れてくれるとうれしいです。

私は、生まれた時から何か必ず動物がいました。なので私は動物のいない暮らしをしたことはありません。動物を怖いと思ったことはありません。私は動物を飼うことによって色々ために

なると思います。まず、お年寄りが動物を飼うと、ボケ防止にもなります。家庭で動物を飼うと命の大切さがわかると思います。生き物を飼うと、おおかれ早かれ必ず死んでいきます。私は何度も動物の生き死にを見てきました。この間は、十二年生きたリスが老衰で死にました。そのリスは最後まで苦しみながら死んでいきました。急に体調が悪くなり、起き上がることができなくなりなりました。でも必死で生きようと頑張っていました。お母さんは、リスが頑張っている間、ずっと徹夜をしてリスを暖めてあげたり、ご飯をあげたり看護していました。その繰り返しが三日間続きました。三日目の午前四時二十分に息を引き取りました。

私は、「よく頑張ったね」と声をかけてあげました。私は泣きました。でもその前に、お母さんが一番泣いたと思います。こういう風に涙を流すということはとても大事なことで私は思いました。

最後になりますが、飼っているペットを決して捨てたりしないでください。人間の身勝手さで短い命を終わらせないでください。最後まで責任を持って飼ってあげてください。

私も責任を持って最後まで飼っていきま

